

東京オリンピック・パラリンピック等の開催に向けた 関西文化の発信強化に係る検討状況等について

平成27年9月5日
広域観光・文化振興局

「はなやか関西・文化戦略会議」において、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた事業について検討しているところですが、このたび第4回会議を開催しましたので、ご報告します。

記

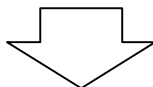
■はなやか関西・文化戦略会議「3つの戦略」

- ① 関西の強みである、歴史、文化、伝統を活かして年次テーマで統一的に発信する取組
- ② 各地域の先進的取組を共有し、お互いのレベルアップにつなげるような取組
- ③ 東京オリンピック・パラリンピック等の開催を祝おうという取組

■第4回戦略会議（7月29日）、作業部会（6月24日）開催

<主な意見等>

- ・ テーマを設定し、各府県市がそのテーマに沿ったイベントを開催。広域連合がマッピングして広報（芸術作品設置、光の道（ライトアップ）、マンガ・アニメ・ゲームなど）
- ・ 関西のアーティスト・イン・レジデンスと連携した海外アーティストによるアートの創造
- ・ ミュージアムぐるっとパス関西（関西版美術館・博物館ガイドブック兼無料入場券・割引券）と関東版パスの連携
- ・ 「関西文化の日」のオリンピック・パラリンピック期間中の実施
- ・ 世界の文化大臣サミットを関西で開催し、オリジナリティな文化をアピール



<具体例案>

- ・ 2020「はなやか関西・国際現代芸術フェスティバル」の開催
⇒ 各府県市が歴史的建造物や景観地等において、同時期に現代芸術祭を開催（会場面積・展示作品数・参加府県市、日本一を目指す）。オープニングイベント（テープカット、シンポジウム等）を関西広域連合が実施
- ・ 2020「はなやか関西・国際伝統芸能まつり」の開催
⇒ 人形浄瑠璃、人形芝居、郷土芸能をはじめ関西各地＋海外の伝統芸能が一堂に会するとともに伝統に新しい要素を加えた祝祭を関西広域連合が実施。広い会場（例えば大阪城ホール、万博公園）において同時多発的に公演。物産も販売

■今後の進め方（案）

